

30年のあゆみ

市川市内における少年野球活動は、学校、子供会等が中心になって極めて狭範囲の中で展開されていましたが、年を追うごとに活発になっている実情に対応すべく、市内の青少年団体が行政、学校と協力しながら組織の確立と統合を計画しました。「市川市少年野球連盟」発足にあたり次の事項が掲げられました。

- (1) 市内各地域の交流を図り、相互の友情を広めて子供の健全育成に努める。
- (2) 従来の地区内に限られたチーム対戦から脱皮し、春、夏、秋季大会を実施しスポーツ活動を充実させる。
- (3) 年間計画を立て指導者の研修を推進することにより、適正な行実施を図り正しい安全な野球を普及させる。
- (4) 野球ルールを習得し、子供達の信頼を深め健全な活動を行う。
- (5) 参加チームの増加に伴う組織運営の責任体制の確立を図る。

これらの事項を連盟の目的として「連盟は野球を通して、少年相互の親交を深めるとともにフェア精神と規律を体得させ、次代を担う少年の健全な育成を図る」と第2条に規定しました。

組織の運営については、市川市教育委員会、PTA連絡協議会、子供会育成会連絡協議会、相談員連絡協議会、善行会、野球協会が共に協力しながら、事務担当を当面の間、市川市教育委員会青少年課において行うことを決めました。

連盟の役員については、会長に市川市野球協会副会長の浮谷貞雄氏、理事長に小出青少年課長から推薦のあった阿部進氏、副会長にPTA連協、市子育て連協からそれぞれ一名の代表者をもって構成することとし、実質的な運用面で重要な審判員については、地域で野球に携わっている方々を中心に、活動が軌道に乗るまで市川市野球協会に援助をお願いしました。

また、連盟の運営については市川市教育委員会との共催事業とする関係上、経費面では市川市で一部を予算化する一方、参加登録チームから会費を徴収し年間の支出に充当するということが決まりました。

こうした基本的な事項が決定し、昭和55年2月17日(日)行徳公民館集会室において市川市少年野球連盟発会式及び第1回総会が開催され、記念すべき第1回記念大会が同年5月11日に地区対抗の形で行われました。続いて、6月29日から市内の小学生チーム99チーム、中学生13チームが参加して第1回夏季中央大会が実施されました。(以上10周年記念誌より引用)

このように、私たちの先輩諸氏が多くの困難を乗り越え、子供たちの野球環境を整えるため市川市少年野球連盟(以下連盟)として組織化しました。現在、市川市の少年野球が活発であり続けているのは、少年野球の状況に危機意識を感じ連盟を設立した方々があればこそであり、私たちは先人の努力に敬意を表するとともに、この道を将来に亘り継続して発展してゆくことに決意を新たにしています。10周年記念誌を引用したのは、連盟設立の目的を改めて現在の若い指導者に知って頂くことが必要と感じたからです。10周年記念誌には、連盟設立時、子供たちが安心して使用できるグラウンド確保のため奔走した役所の方々の言葉も載っています。誠に大変な仕事であったことと思います。その時に奔走して頂いたからこそ今があります。しかしながら多大な苦勞の末に確保した少年広場のうち、東国分少年野球場、東菅野5丁目少年広場、宮久保少年広場、大野少年広場、田尻少年広場は既になくなってしまいました。私たちは今、将来の子供たちが野球をするための少年広場を残さなければいけないと思っています。過去の先輩方が英断を奮って私たちに伝えてくれたものを、私たちもまた勇気を持って次代に繋げて行く責任があります。また、当時から指導者の育成という考えがありました。人間が幼いころに身をもって学んだ経験は一生の糧となります。その指導にあたる大人の責任は重大であるからです。チームの監督コーチは野球技術に加えてルールやマナーを教えたり、結果だけを見るのではなく努力する大切さ、友達を思い遣る心、その他子供たちの人間形成に大きな影響を与える立場であり、家庭教育、学校教育とともに地域教育と言える責任ある立場となっています。したがって、連盟はその指導者に対して研修を通して適正な育成をすることが求められています。ボランティア精神で少年野球に携わっている指導者の皆様に更に研修を課すこととなりますが、ボランティアであっても子供たちを育成する指導者は育成方法に関

する知識と経験を積む責任があるものと考えています。

このような基本方針の下、連盟が行っている事業は以下の通りであり、将来への伝達も込めて記述します。

1. 市川市春季大会

市川市の少年野球はこの春季大会から始まります。春季大会はブロックごとに行なうブロック予選とブロック予選を勝ち抜いたチームによる本戦で構成されています。本戦の開会式は桜満開の国府台球場で行われています。そして市内の少年広場での対戦を経て決勝戦は再び国府台球場に戻って来ます。春季大会は多くの上位大会への切符を獲得する重要な大会でもあります。優勝チームは全日本学童千葉大会と東葛地区春季大会の出場権、準優勝チームは関東学童千葉大会への出場権、そして上位6チームは8月に行なわれる千葉県少年野球大会（千葉日報杯）の出場権を獲得します。

2. 市川市夏季大会

市川市の全チームがひとつのトーナメント表で対戦する最大規模の大会です。6月中旬から7月末まで熱戦を繰り広げ決勝戦は8月末に行われています。開会式は低学年大会と一緒にこなわれ、第30回大会（平成21年）では高低合わせて101チームが入場行進しました。夏季大会の上位6チームは千葉県少年野球選手権大会（ろうきん杯）への出場権を獲得します。また、東葛地区秋季大会、市川市浦安市親善野球大会、五市親善野球大会に出場します。

3. 市川市低学年大会

平成10年から小学校4年生以下の児童で構成されるチームによる低学年大会が始まりました。折りしもこの年は松坂投手が甲子園で大活躍し野球人気が高まった年でもあります。低学年大会は少年野球の底辺拡大に寄与しています。この大会の優勝・準優勝チームは千葉県少年野球低学年大会（ロッテ旗）への出場権を獲得します。

4. 小笠原道大杯

読売巨人軍小笠原道大選手は市川市八幡に在住する市川市民であり、日本プロ野球界屈指の名選手であります。その小笠原選手が市川市の野球少年のために作った大会が小笠原道大杯です。6年生の大会がすべて終了した秋も深まった11月末に開会式を行います。登録選手資格は5年生以下であり市川市の翌年を占う新人戦であります。大会規模は春季大会同様に市川市すべてのチームが参加しブロックごとに予選を実施します。そしてブロック予選を勝ち上がったチームが国府台球場での開会式に始まる本戦に臨みます。開会式では憧れの小笠原選手と同じフィールドに立って入場行進します。また閉会式では小笠原選手から表彰をしてもらえる大会でもあります。

5. 上位大会

上位大会として連盟設立時から東葛地区春季大会と東葛地区秋季大会に参加していましたが、平成5年から千葉県少年野球連盟主催の千葉日報杯、ろうきん杯に参加し始めました。また、平成8年から千葉県少年野球低学年大会（ロッテ旗）に、平成15年から友遊ボール千葉県大会に参加しています。一方、千葉県野球協会が主催している全日本学童千葉大会、関東学童千葉大会、関東学童秋季新人戦大会にも参加しています。

(1) 千葉県少年野球大会（千葉日報杯）は平成5年に富浜バッファローズが出場して以来、平成7年に原木が優勝、平成11年に北方中央が準優勝そして本年福栄かもめファイターズが準優勝しました。平成13年以降は毎年6チームが出場しています。

(2) 千葉県少年野球選手権大会（ろうきん杯）は平成5年に原木子供会野球部が出場して以来、平成10年にみかどファイターズが準優勝を果たしました。平成13年以降は毎年6チームが出場していますが未だ優勝はありません。

(3) 千葉県少年野球低学年大会（ロッテ旗）は平成8年の第2回大会から出場しました。平成13年に富浜バッファ

ローズがベスト4に進出しました。平成14年にも富浜バッファローズと新井ジャガーズがベスト4にダブル進出する躍進を見せました。また、昨年度高谷子供会野球部がベスト4進出しましたが、市川市としてはベスト4の壁を突破できていません。本大会には市川市低学年大会の優勝・準優勝の2チームが派遣されています。

(4) 全日本学童千葉大会には、当初選考会を開いて派遣チームを決めていましたが、平成13年から市川市春季大会優勝チームを派遣することとしています。原木(平成6年)と稲荷木イーグルス(平成14年)が千葉大会で優勝し全国大会に出場するという快挙を成し遂げました。全日本学童全国大会は「小学生の甲子園」と呼ばれて全国の少年野球チームの憧れの大会であります。

(5) 関東学童千葉大会には、当初選考会を開いて派遣チームを決めていましたが、平成13年から市川市春季大会準優勝チームを派遣することとしています。塩焼ちどりウイングス(平成17年)と南行徳ホークス(平成18年)が千葉大会で優勝して2年連続で関東大会に出場しました。関東大会には千葉大会の優勝・準優勝の2チームが派遣されます。

(6) 関東学童軟式野球秋季新人戦千葉大会には、毎年8月末の選考会で派遣チームを決めています。参加資格は新人戦の名が示すとおり5年生以下で構成されるチームです。千葉大会で優勝すると全日本軟式野球連盟の関東連盟と日本ハム株式会社が主催する関東甲信越地方(東京、千葉、神奈川、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨)の代表8チームが競う関東学童軟式野球秋季新人戦大会に出場できます。市川市のチームは平成14年に富浜バッファローズが千葉大会で準優勝したことが最高成績であり関東大会には出場していません。

(7) 友遊ボールは千葉県少年野球連盟が少年野球の底辺拡大のため、軟式野球への入門として小学校3年生以下の児童を対象に、ゴムボールをメガホンバットで打って走り親子で楽しむゲームとして開催しています。市川市からも6月に選考会を開いて友遊ボール千葉大会へ出場チームを派遣しています。

(8) 東葛地区春季大会及び東葛地区秋季大会には、連盟設立の昭和55年からチームを派遣しています。当時千葉県大会に参加していなかったため、東葛地区大会は市川市代表が活躍する唯一の上位大会でした。その中で市川市のチームは常に上位で活躍しています。

6. ブロック対抗戦

連盟設立時、市川市を13地区に分けてグループ化して地域の大会と市川市全体の春季夏季大会という形で少年野球大会を運営して来ましたが、チーム数の減少により地区の大会が成り立たない状況になり、平成14年(第23回)から13地区を融合し市川市を6つのブロックに分割するブロック制としました。そして平成15年、ブロック間の交流のため、各ブロックの6年生の選抜選手からなるチームを作り対抗戦を開催するようになりました。普段は地域で対戦している子供たちが同じチームメイトになり、他ブロックと対戦します。こうしてブロック内でそしてブロック間で子供たちの密接な交流が生まれます。

7. 審判講習会

連盟審判部の審判員は30数名です。春季大会・夏季大会の1,2回戦の試合は多数あり、とても連盟審判員だけではジャッジし切れません。そこで毎年、審判部主催の審判講習会を開催して基本的ルール、ルール変更説明、審判実習を行います。この審判講習会受講者は春季大会・夏季大会で審判員ができる資格を持つこととなります。例年シーズン前の2月に寒風吹く河川敷グラウンドで熱い講習会が行われます。

8. 指導者講習会

千葉県少年野球連盟の講習会ですが、少年野球指導者を育成することを目的として市川市のチームも毎年参加しています。小学生を指導することは単に野球技術を教えることではなく、野球を通して子供たちの人間形成を援助することであり指導者の指導方法や考え方が非常に大切になります。

9. 日韓交流事業

姉妹都市になった韓国原州市と少年野球を通して交流を持つことを目的に平成 18 年に第 1 回交流事業が行われました。連盟では 20 名の選手を選抜し、新しいユニホームを新調したり韓国語勉強会を開いたりして韓国の子供たちを迎えました。8 月、原州市一山小学校チームが市川市を訪問して真夏の国府台球場での親善試合や歓迎レセプションそして東京ディズニーランド観光をしました。翌年は市川市の子供たちが韓国を訪問しました。このように一年おきにそれぞれの国を訪問する形で交流を深めることとなりました。次代を担う両国の子供たちが少年野球を通して国際的な交流を身をもって体験できます。平成 20 年、21 年は新型インフルエンザ等の影響で交流事業が中止されました。

10. 少年野球教室

少年野球教室は連盟設立時には読売巨人軍の川上哲治氏はじめとする野球教室が開催されました。その後 NTT 関東による野球教室が行われた時代もありました。そして現在は市川よみうりのご協力により「よみうりさわやか野球教室」と銘打って、読売巨人軍OBによる少年野球教室を毎年開催しています。また、平成 16 年 10 月には、市制 70 周年記念事業としてプロ野球名球会による野球教室を開催しました。

11. 親善試合

近隣市との親善試合を開催しています。11 月に行っている市川市浦安市親善野球大会、五市親善野球大会に夏季大会優勝チーム等を派遣しています。また、千葉県 NPO 主催六年生選抜大会にも選手を派遣しています。



平成 21 年度 五市親善少年野球大会 優勝

| 回次 | 年度 | 月 日 | 行事内容概要 |
|----|-----------------|--------------------------|---|
| 1 | 昭和55年 (1980) | 2月 5月11日 | 市川市教育委員会・相談員連絡協議会・PAT連絡協議会、子供会育成会並びに野球協会が発起人となり、故浮谷貞雄氏を中心として2月18日の設立総会を経て発足 第1回春季大会は連盟発足記念大会として全13地区代表チームによる地区対抗大会として実施 市川市少年野球夏季大会開催 第1回少年野球教室(講演会)／別所毅彦 第2回少年野球教室／川上哲治 篠塚利夫野球教室及びチャリティー 審判講習会2回 東葛飾地区少年野球秋季大会 大町若葉 |
| 2 | 昭和56年 (1981) | 4月 | 市川市少年野球春季大会開催 市川市少年野球夏季大会開催 第3回少年野球教室／大友 工 審判講習会5回 東葛飾地区少年野球春季大会 迎米大野 浦安市制記念親善野球大会 大町若葉／稲越連合 東葛飾地区少年野球秋季大会 大町若葉／稲越連合 淡口憲治野球教室及びチャリティー |
| 3 | 昭和57年 (1982) | 4月 6月27日 | 市川市少年野球春季大会開催 市川市少年野球夏季大会開催(108チーム) (夏季大会使用球場は妙典野球場A、B、C、D、田尻、東国分、東国分第二、宮久保、大野、国府台学院) 姉妹都市・アメリカ合衆国ガーディナ市へ少年野球使節団を派遣した(第1回ガーディナ) 第4回少年野球教室／宇野光雄、北川 東葛飾地区少年野球春季大会 大町若葉優勝 東葛飾地区少年野球秋季大会 大町若葉 浅野啓司野球教室及びチャリティー |
| 4 | 昭和58年 (1983) | 4月 6月26日 | 市川市少年野球春季大会開催 市川市少年野球夏季大会開催(117チーム) 第5回少年野球教室／宮田征典 東葛飾地区少年野球春季大会 平川優勝 東葛飾地区少年野球秋季大会 大町若葉3位 西本聖野球教室及びチャリティー |
| 5 | 昭和59年 (1984) | 4月 6月24日 8月 | 市川市少年野球春季大会開催 市川市少年野球夏季大会開催(118チーム) 第14回千葉県少年野球大会(千葉日報杯)に1チーム派遣(本年から出場スタート) 市川市制50周年記念大会 平川A／城山 審判講習会 東葛飾地区少年野球春季大会 シラサギ 東葛飾地区少年野球秋季大会 平川A |
| 6 | 昭和60年 (1985) | 4月 6月23日 8月 | 市川市少年野球春季大会開催 市川市少年野球夏季大会開催(116チーム) 第15回千葉県少年野球大会(千葉日報杯) 少年野球連盟記念大会 大町／城山 東葛飾地区少年野球春季大会 宮久保A 東葛飾地区少年野球秋季大会 大町2位 NTT少年野球教室 |
| 7 | 昭和61年 (1986) | 4月 6月22日 8月 | 市川市少年野球春季大会開催 市川市少年野球夏季大会開催(110チーム) (夏季大会使用球場は国府台球場、東国分上、東国分下、南行徳A、南行徳B、原木、田尻、河川敷6号、河川敷7号、大野、柏井、宮久保、北方、河川敷11号) 第16回千葉県少年野球大会(千葉日報杯) 少年野球連盟記念大会 大町／エンゼルス 東葛飾地区少年野球春季大会 大町 東葛飾地区少年野球秋季大会 大町 中華民国(台湾)遠征／3戦 2勝1敗 少年野球教室／千葉商科大学野球部 |
| 8 | 昭和62年 (1987) | 4月 6月21日 8月 11月 | 市川市少年野球春季大会開催 市川市少年野球夏季大会開催(94チーム) 第17回千葉県少年野球大会(千葉日報杯) 本年から第3回千葉県少年野球選手権大会(ろうきん杯)に出場(1チーム派遣) 市川市ガーディナ市25周年記念大会 大町 東葛飾地区少年野球春季大会 欠真間2丁目イーグルス2位 東葛飾地区少年野球秋季大会 大町2位 NTT少年野球教室 |

| 回数 | 年度 | 月 日 | 行事内容概要 |
|----|-----------------|---|---|
| 9 | 昭和63年 (1988) | 4月17日 6月12日 8月 11月 | 市川市少年野球春季大会開催(24チーム) (春季大会使用球場は国府台球場、東国分第1少年広場(下)、東国分第2少年野球場(上)、柏井少年野球場、大野少年広場、宮久保少年広場、行徳橋下河川グラウンド) 市川市少年野球夏季大会開催(79チーム) 第18回千葉県少年野球大会(千葉日報杯) 第4回千葉県少年野球選手権大会(ろうきん杯) 市川市浦安市親善大会 原木/富浜バッファローズ 東葛飾地区少年野球春季大会 原木優勝 東葛飾地区少年野球秋季大会 原木2位 NTT少年野球教室 審判講習会/千葉県高等学校野球連盟審判部 市川市青少年交流事業/山梨縣市川大門町遠征/2戦2勝 |
| 10 | 平成元年 (1989) | 4月 7月16日 8月 11月 11月 | 市川市少年野球春季大会開催 市川市少年野球夏季大会開催(79チーム) 第19回千葉県少年野球大会(千葉日報杯) 第5回千葉県少年野球選手権大会(ろうきん杯) 連盟設立10周年記念誌発行 東葛飾地区少年野球春季大会 原木優勝 みかどファイターズ 東葛飾地区少年野球秋季大会 中華民国(台湾)遠征/4戦 3勝1敗 山梨縣市川大門町チームと試合/二俣NTTグラウンド 関東ろう学校野球大会審判/8月 NTT少年野球教室 |
| 11 | 平成2年 (1990) | 4月14日 6月24日 8月23-30 8月 11月 11月 | 市川市少年野球春季大会開催(24チーム) (春季大会使用球場は国府台球場、東国分少年広場(下)、東国分少年野球場(上)、柏井少年広場、南行徳公園グラウンド) 市川市少年野球夏季大会開催(68チーム) (夏季大会使用球場は国府台球場、東国分少年広場(下)、東国分少年野球場(上)、柏井少年野球場、南行徳公園グラウンド、田尻第一少年広場、行徳橋下グラウンドA、行徳橋下グラウンドB、宮久保少年広場) 東葛地区少年野球春季大会 姉妹都市・アメリカ合衆国ガーデンナ市へ使節団派遣した(第2回ガーディナ) 第20回千葉県少年野球大会(千葉日報杯) 東葛地区少年野球秋季大会 第6回千葉県少年野球選手権大会(ろうきん杯) NTT少年野球教室 |
| 12 | 平成3年 (1991) | 4月 6月23日 8月 11月 11月 | 市川市少年野球春季大会開催 市川市少年野球夏季大会開催(66チーム) (夏季大会使用球場は国府台球場、東国分少年広場(下)、東国分少年野球場(上)、東菅野5丁目少年広場、柏井少年野球場、田尻少年広場、南行徳公園グラウンド、行徳橋下グラウンドA、行徳橋下グラウンドB) 東葛地区少年野球春季大会 第21回千葉県少年野球大会(千葉日報杯) 東葛地区少年野球秋季大会 第7回千葉県少年野球選手権大会(ろうきん杯) NTT少年野球教室 |
| 13 | 平成4年 (1992) | 2月15日 2月23日 4月26日 6月21日 7月5日 8月 11月 11月8日 11月22-23 12月6日 | 市川市民会館で連盟総会開催 連盟審判講習会(少年自然の家) 市川市少年野球夏季大会開催(24チーム) (春季大会使用球場は国府台球場、東国分少年広場(下)、東国分少年野球場(上)、宮久保少年広場、東菅野5丁目少年広場) 市川市少年野球夏季大会開会式(68チーム) (夏季大会使用球場は国府台球場、東国分少年広場(下)、東国分少年野球場(上)、東菅野5丁目少年広場、田尻少年広場、南行徳公園グラウンド、行徳橋下グラウンドA、行徳橋下グラウンドB) 東葛地区少年野球春季大会(流山市) 第22回千葉県少年野球大会(千葉日報杯) 第8回千葉県少年野球選手権大会(ろうきん杯) NTT少年野球教室(第1,2地区:NTT二俣総合グラウンド) 東葛地区少年野球秋季大会(原木、塩焼メッツ:市川市) 市川市浦安市少年野球親善大会(市川市) |
| 14 | 平成5年 (1993) | 2月20日 4月18日 4月 5月 | 市川市民会館で連盟総会開催 市川市少年野球春季大会開催(29チーム) (春季大会使用球場は国府台球場、東国分少年広場(下)、東国分少年野球場(上)、宮久保少年広場、東菅野5丁目少年広場) 全日本学童第2ブロック予選(市川・浦安・船橋・鎌ヶ谷) 第13回全日本学童千葉県大会(本年より参加) 第16回関東学童千葉大会(本年より参加) |

| 回次 | 年度 | 月 日 | 行事内容概要 |
|----|----------------|---------|--|
| | | 6月27日 | 市川市少年野球夏季大会開会式（83チーム）旧協会学童部廃止に伴い連盟に一本化 （夏季大会使用球場は国府台球場、東国分少年広場（下）、東国分少年野球場（上）、東菅野5丁目少年広場、宮久保少年野球場、田尻少年広場、行徳橋下グラウンドA、行徳橋下グラウンドB、南行徳公園グラウンドA、南行徳公園グラウンドB） |
| | | 8月 | 第23回千葉県少年野球大会（千葉日報杯） |
| | | 11月 | 第9回千葉県少年野球選手権大会（ろうきん杯） |
| | | 11月 | NTT少年野球教室（第3,4地区：NTT二俣総合グラウンド） |
| | | 11月 | 市川市浦安市少年野球親善大会（浦安市） |
| | | 11月 | 4市親善野球大会（鎌ヶ谷市） |
| | | 11月 | 大島親善大会、白球会大会 |
| 15 | 平成6年 (1994) | 4月17日 | 市川市少年野球春季大会開催（32チーム） （春季大会使用球場は国府台球場、東国分少年広場（下）、東国分少年野球場（上）、宮久保少年広場、東菅野5丁目少年広場、行徳橋下河川グラウンド） 市制60周年記念の年、始球式ボールはヘリコプターでマウンドに降下された。 |
| | | 5月 | 東葛地区少年野球春季大会 |
| | | 5月 | 第14回全日本学童千葉県大会で原木が優勝し全国大会出場 |
| | | 6月26日 | 市川市少年野球夏季大会開催（77チーム） |
| | | 7月29-31 | 姉妹都市・アメリカ合衆国ガーディナ市より少年野球チーム来日 |
| | | 11月 | 第17回関東学童千葉県大会 |
| | | 11月 | 市川市浦安市少年野球親善大会 |
| | | 11月 | NTT野球教室／NTT二俣グラウンド |
| | | 11月 | 東葛地区少年野球秋季大会 |
| 16 | 平成7年 (1995) | 4月26日 | 市川市少年野球春季大会開催（28チーム） 市川市少年野球夏季大会開催（68チーム） （夏季大会使用球場は国府台球場、東国分（下）、東国分（上）、東菅野、田尻、行徳橋A、南行徳公園） |
| | | 5月 | 東葛地区少年野球春季大会 |
| | | 5月 | 第15回全日本学童千葉県大会で原木が第三位 |
| | | 8月 | 第25回千葉県少年野球大会（千葉日報杯）で原木が優勝 |
| | | 11月 | 第18回関東学童千葉県大会 |
| | | 11月 | 4市親善野球大会 |
| | | 11月 | 第11回千葉県少年野球選手権大会（ろうきん杯） |
| | | 11月 | 市川市浦安市少年野球親善大会 |
| | | 11月 | NTT野球教室／NTT二俣グラウンド |
| | | 11月 | 東葛地区少年野球秋季大会 |
| 17 | 平成8年 (1996) | 3月17日 | 市川市少年野球春季大会開催（29チーム） （春季大会使用球場は国府台、東国分上、下、東菅野5丁目、田尻、行徳橋A、B、南行徳公園） |
| | | 5月 | 東葛地区少年野球春季大会 |
| | | 5月 | 第16回全日本学童少年野球千葉大会 |
| | | 6月23日 | 市川市少年野球夏季大会開催（69チーム） （夏季大会使用球場は国府台球場、東国分少年広場、東国分少年野球場、東菅野5丁目少年広場、田尻少年広場、行徳橋グラウンドA、南行徳公園グラウンド） |
| | | 8月 | 第19回関東学童千葉県大会 |
| | | 8月 | 第26回千葉県少年野球大会（千葉日報杯）2チーム派遣 |
| | | 8月 | 本年から千葉県少年野球低学年大会（ロッテ旗）に連合チームにて出場 |
| | | 8月 | 姉妹都市・アメリカ合衆国ガーディナ市へ使節団派遣と親善試合（1敗1分）（第3回ガーディナ） |
| | | 10月 | 五市一町親善野球大会 |
| | | 10月 | 第2回千葉県少年野球低学年大会（連合チームを派遣） |
| | | 11月 | 第12回千葉県少年野球選手権大会（ろうきん杯） |
| | | 11月 | 市川市浦安市少年野球親善大会 |
| | | 11月 | NTT少年野球教室（第8,10,11地区：NTT二俣総合グラウンド） |
| | | 11月 | 東葛地区少年野球秋季大会 |
| 18 | 平成9年 (1997) | 3月9日 | 連盟審判講習会（筑波大学付属ろう学校運動場：講師は千葉県高校野球連盟審判部） |
| | | 4月20日 | 市川市少年野球春季大会開催（28チーム） （春季大会使用球場は国府台、東国分上、下、東菅野5丁目、田尻、行徳橋A、B、南行徳公園） |
| | | 5月 | 東葛地区少年野球春季大会 |
| | | 5月 | 第17回全日本学童少年野球千葉大会 |
| | | 6月22日 | 市川市少年野球夏季大会開催（67チーム） （夏季大会使用球場は国府台球場、東国分少年広場、東国分少年野球場、東菅野5丁目少年広場、田尻少年広場、行徳橋グラウンドA、南行徳公園グラウンド） |
| | | 8月 | 第20回関東学童千葉県大会 |
| | | 8月 | 第27回千葉県少年野球大会（千葉日報杯）5チーム派遣 |
| | | 10月 | 五市一町親善野球大会 |
| | | 10月 | 第3回千葉県少年野球低学年大会（連合チームを派遣） |
| | | 11月 | 第13回千葉県少年野球選手権大会（ろうきん杯）5チーム派遣 |
| | | 11月 | 浦安市市川少年野球親善大会 |
| | | 11月 | NTT野球教室／NTT二俣グラウンド |
| | | 11月 | 東葛地区少年野球秋季大会 |

| 回次 | 年度 | 月 日 | 行事内容概要 |
|----|-----------------|---|--|
| 19 | 平成10年 (1998) | 3月 4月19日 5月 5月 6月21日 7月12日 8月 9月6日 10月 10月 11月 11月 11月 11月 | 審判講習会(筑波大付属ろう学校運動場) 市川市少年野球春季大会開催(27チーム) (春季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、東菅野5丁目、行徳橋A、南行徳公園) 東葛地区少年野球春季大会(流山市) 第18回全日本学童少年野球千葉大会 市川市少年野球夏季大会開催(65チーム) (夏季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、東菅野5丁目、田尻、行徳橋A、B、南行徳公園) 市川市少年野球低学年大会開催(20チーム)(第1回)本年より低学年大会をスタート (低学年大会使用球場は国府台、東国分少年広場、田尻少年広場、行徳橋A、B) 第21回関東学童千葉県大会 第28回千葉県少年野球大会(千葉日報杯)5チーム派遣 市川市少年野球夏季大会決勝戦は南行徳公園グラウンドにて実施 五市一町親善野球大会 第4回千葉県少年野球低学年大会(市川市低学年大会上位2チームを派遣) 第14回千葉県少年野球選手権大会(ろうきん杯)でみかどファイターズが準優勝 浦安市市川少年野球親善大会 NTT野球教室(3,5,6,12地区)NTT二俣グラウンド 東葛地区少年野球秋季大会(市川市) |
| 20 | 平成11年 (1999) | 1月 2月 4月18日 5月 5月 6月27日 7月18日 7月30-8月1日 8月 8月 8月 9月 10月 10月 11月 11月 11月 | 市川市民会館で連盟総会開催 連盟主催審判講習会開催 市川市少年野球春季大会開催 (春季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋A、B、南行徳公園) 東葛地区少年野球春季大会 第19回全日本学童少年野球千葉大会 市川市少年野球夏季大会開催(61チーム) (夏季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、東菅野5丁目、田尻、行徳橋A、南行徳公園、 原木少年野球場) 市川市少年野球低学年大会開催(28チーム)(第2回) (低学年大会使用球場は国府台、東国分少年広場、東菅野5丁目、田尻少年広場、柏井少年広場) 連盟設立20周年記念選抜選手派遣遠征試合(館山市選抜チームと対戦) 第22回関東学童千葉県大会 第29回千葉県少年野球大会(千葉日報杯)で北方中央が準優勝 第1回関東学童秋季大会(日本ハム旗新人戦)市川市予選 第1回関東学童秋季大会(日本ハム旗新人戦)千葉県大会 第5回千葉県低学年大会(ロッテ旗)2チーム派遣 連盟設立20周年記念式典開催(市川グラウンドホテル) 東葛地区少年野球秋季大会 浦安市市川少年野球親善大会 第15回千葉県少年野球選手権大会(ろうきん杯)5チーム派遣 |
| 21 | 平成12年 (2000) | 1月 2月 5月 4月 6月 6月18日 7月20日 8月 8月 8月 9月 10月 10月 11月 11月 11月 11月 | 市川市民会館で連盟総会開催 連盟主催審判講習会開催 第20回全日本学童少年野球千葉大会 市川市少年野球春季大会開催(本戦28チーム) (春季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、東菅野5丁目、行徳橋A、南行徳公園) 東葛地区少年野球春季大会 市川市少年野球夏季大会開催(61チーム) (夏季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、東菅野5丁目、行徳橋A、南行徳公園、田尻) 市川市少年野球低学年大会開催(32チーム)(第3回) (低学年大会使用球場は国府台、東国分少年広場、東菅野5丁目、田尻少年広場、行徳橋A、 柏井少年広場) 第30回千葉県少年野球大会(千葉日報杯)5チーム派遣 第23回関東学童千葉県大会 第2回関東学童秋季大会(日本ハム旗新人戦)市川市予選 第2回関東学童秋季大会(日本ハム旗新人戦)千葉県大会 五市一町親善少年野球大会 第6回千葉県低学年大会(ロッテ旗)2チーム派遣 第16回千葉県少年野球選手権大会(ろうきん杯)で南行徳ホークスがベスト4進出 東葛地区少年野球秋季大会 市川市浦安市親善少年野球大会 NTT野球教室/NTT二俣グラウンド |
| 22 | 平成13年 (2001) | 1月 2月 4月 5月 5月 | 市川市民会館で連盟総会開催 連盟主催審判講習会開催 市川市少年野球春季大会開催(本戦26チーム) (春季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、東菅野5丁目、行徳橋A、南行徳公園、田尻 少年広場) 東葛地区少年野球春季大会 第21回全日本学童少年野球千葉大会(本年から春季大会優勝チームを派遣することを規定) |

| 回次 | 年度 | 月 日 | 行事内容概要 |
|----|-----------------|-------|---|
| | | 6月17日 | 市川市少年野球夏季大会開催（61チーム） （夏季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、東菅野5丁目、行徳橋A、B、南行徳公園） |
| | | 7月8日 | 市川市少年野球低学年大会開催（35チーム）（第4回） （低学年大会使用球場は国府台、東国分少年広場、東菅野5丁目、行徳橋A、柏井少年広場、南行徳公園） |
| | | 8月 | 第31回千葉県少年野球大会（千葉日報杯）6チーム派遣 |
| | | 8月 | 第24回関東学童少年野球千葉大会（本年から春季大会準優勝チームを派遣することを規定） |
| | | 8月 | 第3回関東学童秋季大会（日本ハム旗新人戦）市川市予選 |
| | | 9月 | 第3回関東学童秋季大会（日本ハム旗新人戦）千葉県大会 |
| | | 10月 | 五市一町親善少年野球大会 |
| | | 10月 | 第7回千葉県低学年大会（ロッテ旗）で富浜バッファローズがベスト4進出 |
| | | 11月 | 第17回千葉県少年野球選手権大会（ろうきん杯）6チーム派遣 |
| | | 11月 | 東葛地区少年野球秋季大会（市川市） |
| | | 11月 | 市川市浦安市親善少年野球大会 |
| | | 11月 | NTT野球教室／NTT二俣グラウンド |
| 23 | 平成14年 （2002） | 2月 | 市川市民会館で連盟総会開催 13支部体制を6ブロック体制に組織変更 |
| | | 4月7日 | 市川市少年野球春季大会開催（本戦26チーム） （春季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、南行徳公園、東菅野5丁目、田尻少年広場、妙典少年広場A、妙典少年広場B） |
| | | 5月 | 東葛地区少年野球春季大会（柏市） |
| | | 5月 | 第22回全日本学童千葉県大会で稲荷木イーグルスが優勝し全国大会出場 |
| | | 5月 | 連盟主催審判講習会開催 |
| | | 6月16日 | 市川市少年野球夏季大会開催（62チーム） （夏季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋A、妙典少年広場A、B） |
| | | 7月6日 | 市川市少年野球低学年大会開催（34チーム）（第5回） （低学年大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋A、妙典少年広場A、B） |
| | | 8月 | 第32回千葉県少年野球大会（千葉日報杯）6チーム派遣 |
| | | 8月 | 第25回関東学童千葉県大会で中国分イーグルスがベスト4進出 |
| | | 8月 | 第4回関東学童秋季大会（日本ハム旗新人戦）市川市予選 |
| | | 10月 | 第4回関東学童秋季大会（日本ハム旗）で富浜バッファローズが準優勝 |
| | | 10月 | 五市一町親善少年野球大会（鎌ヶ谷） |
| | | 11月 | 東葛地区少年野球秋季大会（船橋市） |
| | | 11月 | 市川市浦安市親善少年野球大会 |
| | | 11月 | 第8回千葉県低学年大会（ロッテ旗）で富浜バッファローズ、新井ジャガーズがベスト4進出 |
| | | 11月 | 第18回千葉県少年野球選手権大会（ろうきん杯）で富浜バッファローズがベスト4進出 |
| | | 11月 | NTT野球教室（1,6ブロック）NTT二俣グラウンド |
| | | 11月 | 日本ハム少年野球教室／日本ハム鎌ヶ谷球場 |
| | | 11月 | 第1回千葉県NPO六年生選抜大会 |
| 24 | 平成15年 （2003） | 1月 | 市川市民会館で連盟総会開催 本年から千葉県少年野球友遊ボール大会に出場 |
| | | 2月 | 連盟主催審判講習会開催 |
| | | 4月6日 | 市川市少年野球春季大会開催（本戦26チーム） （春季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、東菅野5丁目、田尻少年広場、妙典少年広場A、妙典少年広場B） |
| | | 5月 | 東葛地区少年野球春季大会 |
| | | 5月 | 第23回全日本学童千葉県大会 |
| | | 6月 | 市川市友遊ボール大会開催 |
| | | 6月15日 | 市川市少年野球夏季大会開催（59チーム） （夏季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B） |
| | | 7月5日 | 市川市少年野球低学年大会開催（36チーム）（第6回） （低学年大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B） |
| | | 7月 | 第12回千葉県友遊ボール大会派遣（本年より千葉県大会に派遣） |
| | | 8月 | 第33回千葉県少年野球大会（千葉日報杯）6チーム派遣 |
| | | 8月 | 第26回関東学童千葉県大会 |
| | | 8月 | 第5回関東学童秋季大会（日本ハム旗新人戦）市川市予選 |
| | | 9月 | 第5回関東学童秋季大会（日本ハム旗新人戦）千葉県大会 |
| | | 10月 | 第9回千葉県低学年大会（ロッテ旗）2チーム派遣 |
| | | 10月 | よみうりさわやか野球教室 |
| | | 10月 | 第19回千葉県少年野球選手権大会（ろうきん杯）6チーム派遣 |
| | | 10月 | 五市一町親善少年野球大会 |
| | | 11月 | 東葛地区少年野球秋季大会 |
| | | 11月 | 市川市浦安市親善少年野球大会 |
| | | 11月 | 第2回千葉県NPO六年生選抜大会 |
| | | 12月 | 第1回ブロック対抗戦開催 |

| 回次 | 年度 | 月 日 | 行事内容概要 |
|----|-----------------|---|--|
| 25 | 平成16年 (2004) | 1月 2月 4月4日 5月 5月 6月 6月20日 6月20日 7月 8月 8月 8月 9月 10月 10月 10月 10月 10月 10月 11月 11月 11月 | 市川市民会館で連盟総会開催 連盟主催審判講習会開催 市川市少年野球春季大会開催(本戦26チーム) (春季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B) 東葛地区少年野球春季大会 第24回全日本学童千葉県大会 市川市友遊ボール大会開催 市川市少年野球夏季大会開催(57チーム) (夏季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B) 市川市少年野球低学年大会開催(37チーム)(第7回) (低学年大会使用球場は国府台、東国分少年広場、妙典少年広場A、B、柏井少年広場) 第13回千葉県友遊ボール大会派遣 第6回関東学童秋季大会(日本ハム旗新人戦)市川市予選 第34回千葉県少年野球大会(千葉日報杯)6チーム派遣 第27回関東学童千葉県大会 第6回関東学童秋季大会(日本ハム旗新人戦)千葉県大会 第2回ブロック対抗戦開催 第10回千葉県低学年大会(ロッテ旗)で南行徳ホークスが準優勝 よみうりさわやか野球教室 10月市川市市制70周年記念事業として「プロ野球名球会」による野球教室を開催した 第20回千葉県少年野球選手権大会(ろうきん杯)6チーム派遣 五市一町親善少年野球大会 東葛地区少年野球秋季大会(富浜バッファローズ優勝) 市川市浦安市親善少年野球大会 第3回千葉県NPO六年生選抜大会 |
| 26 | 平成17年 (2005) | 1月 2月 4月3日 5月 5月 6月 6月12日 7月3日 7月 8月 8月 8月 9月 9月 10月 10月 10月 10月 10月 11月 11月 11月 | 市川市民会館で連盟総会開催 連盟主催審判講習会開催 市川市少年野球春季大会開催(本戦26チーム) (春季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B) 東葛地区少年野球春季大会 第25回全日本学童千葉県大会 市川市友遊ボール大会開催 市川市少年野球夏季大会開催(54チーム) (夏季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B) 市川市少年野球低学年大会開催(43チーム)(第8回) (低学年大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B、柏井少年広場) 第14回千葉県友遊ボール大会派遣 第35回千葉県少年野球大会(千葉日報杯)で平田サターズがベスト4進出 第28回関東学童千葉県大会で塩焼ちどりウイングスが優勝し関東大会出場 第7回関東学童秋季大会(日本ハム旗新人戦)市川市予選 第3回ブロック対抗戦開催 第7回関東学童秋季大会(日本ハム旗新人戦)千葉県大会 第11回千葉県低学年大会(ロッテ旗)3チーム派遣 よみうりさわやか野球教室 第21回千葉県少年野球選手権大会(ろうきん杯)6チーム派遣 六市親善少年野球大会(船橋市、市川市、浦安市、鎌ヶ谷市、安孫子市、沼南町⇒柏市) 東葛地区少年野球秋季大会 市川市浦安市親善少年野球大会 第4回千葉県NPO六年生選抜大会 |
| 27 | 平成18年 (2006) | 1月 2月 4月2日 5月 5月 6月 6月11日 7月16日 7月 8月 8月 8月 | 勤労福祉センターで連盟総会開催 連盟主催審判講習会開催 市川市少年野球春季大会開催(本戦24チーム) (春季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B) 東葛地区少年野球春季大会(流山市)(北方東部準優勝) 第26回全日本学童千葉県大会 市川市友遊ボール大会開催 市川市少年野球夏季大会開催(56チーム) (夏季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B) 市川市少年野球低学年大会開催(42チーム)(第9回) (低学年大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B、柏井少年広場、青葉スポーツ広場) 第15回千葉県友遊ボール大会派遣 第1回日韓交流事業として姉妹都市・韓国原州市の一山小学校チームが来日 第36回千葉県少年野球大会(千葉日報杯)6チーム派遣 第29回関東学童千葉県大会で南行徳ホークスが優勝し関東大会出場 |

| 回次 | 年度 | 月 日 | 行事内容概要 |
|----|-----------------|-------|--|
| | | 8月 | 第8回関東学童秋季大会（日本ハム旗新人戦）市川市予選 |
| | | 9月 | 第4回ブロック対抗戦開催 |
| | | 9月 | 第8回関東学童秋季大会（日本ハム旗新人戦）千葉県大会 |
| | | 10月 | 第12回千葉県低学年大会（ロッテ旗）2チーム派遣 |
| | | 10月 | 第22回千葉県少年野球選手権大会（ろうきん杯）6チーム派遣 |
| | | 10月 | 五市親善少年野球大会（市川市） |
| | | 11月 | 東葛地区少年野球秋季大会（野田市）（南行徳ホークス優勝） |
| | | 11月 | 市川市浦安市親善少年野球大会（国府台球場） |
| | | 11月 | 市川よみうり少年野球教室 |
| | | 11月 | 第5回千葉県NPO六年生選抜大会 |
| 28 | 平成19年 (2007) | 2月 | 勤労福祉センターで連盟総会開催 |
| | | 2月 | 連盟主催審判講習会開催 |
| | | 4月1日 | 市川市少年野球春季大会開催（本戦27チーム） （春季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B） |
| | | 5月 | 東葛地区少年野球春季大会（我孫子市） |
| | | 5月 | 第27回全日本学童千葉県大会 |
| | | 6月 | 市川市友遊ボール大会開催 |
| | | 6月10日 | 市川市少年野球夏季大会開催（60チーム） （夏季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B） |
| | | 7月1日 | 市川市少年野球低学年大会開催（44チーム）（第10回） （低学年大会使用球場は国府台、東国分少年広場、妙典少年広場A、B、柏井少年広場） |
| | | 7月 | 第16回千葉県友遊ボール大会派遣 |
| | | 8月 | 第2回日韓交流事業として市川選抜チームが姉妹都市・韓国原州市の一山小学校チームへ遠征 |
| | | 8月 | 第37回千葉県少年野球大会（千葉日報杯）6チーム派遣 |
| | | 8月 | 第30回関東学童千葉県大会 |
| | | 8月 | 第9回関東学童秋季大会（日本ハム旗新人戦）市川市予選 |
| | | 9月 | 第5回ブロック対抗戦開催 |
| | | 9月 | 第9回関東学童秋季大会（日本ハム旗新人戦）千葉県大会 |
| | | 10月 | 第13回千葉県低学年大会（ロッテ旗）2チーム派遣 |
| | | 10月 | 第23回千葉県少年野球選手権大会（ろうきん杯）6チーム派遣 |
| | | 10月 | 五市親善少年野球大会（船橋市）市川オークリーズ準優勝 |
| | | 11月 | 東葛地区少年野球秋季大会（市川市）市川オークリーズ準優勝 |
| | | 11月 | 市川市浦安市親善少年野球大会（国府台球場） |
| | | 11月 | 市川よみうり少年野球教室 |
| | | 11月 | 第6回千葉県NPO六年生選抜大会 |
| | | 12月 | 第1回小笠原道大杯（市川市少年野球秋季五年生大会）を五年生以下のブロック対抗戦として開催。 |
| 29 | 平成20年 (2008) | 2月 | 市川市民会館で連盟総会開催 |
| | | 2月 | 連盟主催審判講習会開催 |
| | | 4月6日 | 市川市少年野球春季大会開催（本戦27チーム） （春季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B） |
| | | 5月 | 東葛地区少年野球春季大会 |
| | | 5月 | 第28回全日本学童千葉県大会 |
| | | 6月 | 市川市友遊ボール大会開催 |
| | | 6月8日 | 市川市少年野球夏季大会開催（59チーム） （夏季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B） |
| | | 7月6日 | 市川市少年野球低学年大会開催（46チーム）（第11回） （低学年大会使用球場は国府台、東国分少年広場、妙典少年広場A、B、柏井少年広場、青葉少年スポーツ広場） |
| | | 7月 | 第17回千葉県友遊ボール大会派遣 |
| | | 8月 | 第3回日韓交流事業（来日）は中止となった。 |
| | | 8月 | 第38回千葉県少年野球大会（千葉日報杯）6チーム派遣 |
| | | 8月 | 第31回関東学童千葉県大会で真間ウエスタンがベスト4進出 |
| | | 8月 | 第10回関東学童秋季大会（日本ハム旗新人戦）市川市予選 |
| | | 9月 | 第6回ブロック対抗戦開催 |
| | | 9月 | 第10回関東学童秋季大会（日本ハム旗新人戦）千葉県大会 |
| | | 10月 | 第14回千葉県低学年大会（ロッテ旗）で高谷子供会野球部がベスト4進出 |
| | | 10月 | 第24回千葉県少年野球選手権大会（ろうきん杯）6チーム派遣 |
| | | 10月 | 五市親善少年野球大会（船橋市） |
| | | 11月 | 東葛地区少年野球秋季大会 |
| | | 11月 | 市川市浦安市親善少年野球大会 |
| | | 11月 | 市川よみうり少年野球教室 |
| | | 11月 | 第7回千葉県NPO六年生選抜大会 |
| | | 12月 | 第2回小笠原道大杯（市川市少年野球秋季五年生大会）をブロックごとの地区予選（59チーム）及び本戦（26チーム）という春季大会同様の規模で開催。 |

| 回次 | 年度 | 月 日 | 行事内容概要 |
|----|-----------------|--------|--|
| 30 | 平成21年 (2009) | 1月 | 市川市民会館で連盟総会開催 |
| | | 2月 | 連盟主催審判講習会開催 |
| | | 3月 | 連盟設立30周年記念実行委員会を組織 |
| | | 4月5日 | 市川市少年野球春季大会開催(本戦26チーム) (春季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B) |
| | | 5月 | 東葛地区少年野球春季大会 |
| | | 5月 | 第29回全日本学童千葉県大会 |
| | | 6月 | 市川市友遊ボール大会開催 |
| | | 6月7日 | 市川市少年野球夏季大会開催(55チーム) (夏季大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B) |
| | | 6月28日 | 市川市少年野球低学年大会開催(46チーム)(第12回) (低学年大会使用球場は国府台、東国分少年広場、行徳橋グラウンド、妙典少年広場A、B、柏井少年広場) |
| | | 7月 | 第18回千葉県友遊ボール大会派遣 |
| | | 8月 | 第4回日韓交流事業(韓国遠征)は新型インフルエンザのため中止となった。 |
| | | 8月 | 第39回千葉県少年野球大会(千葉日報杯)で福栄かもめファイターズが準優勝 |
| | | 8月 | 第32回関東学童千葉県大会 |
| | | 8月 | 第11回関東学童秋季大会(日本ハム旗新人戦)市川市予選 |
| | | 9月 | 第7回ブロック対抗戦開催 |
| | | 9月 | 第11回関東学童秋季大会(日本ハム旗新人戦)千葉県大会 |
| | | 10月17日 | 連盟創立30周年式典を開催(市川グラウンドホテル) |
| | | 10月 | 第15回千葉県低学年大会(ロッテ旗)2チーム派遣予定 |
| | | 10月 | 第25回千葉県少年野球選手権大会(ろうきん杯)6チーム派遣予定 |
| | | 10月 | 五市親善少年野球大会・参加予定 |
| | | 11月 | 東葛地区少年野球秋季大会・参加予定 |
| | | 11月 | 市川市浦安市親善少年野球大会・参加予定 |
| | | 11月 | 市川よみうり少年野球教室・実施予定 |
| | | 11月 | 第8回千葉県NPO六年生選抜大会・参加予定 |
| | | 12月 | 第3回小笠原道大杯実施予定(9月現在ブロック予選が真っ盛り) |